

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市産業振興会館	評価対象年度	令和3年度
事業者名	【事業者名】 公益財団法人川崎市産業振興財団・京急サービス株式会社 共同事業体 【代表者名】 三浦 淳 【住所】 川崎市幸区堀川町66番地20	評価者	経済労働局 経営支援部経営支援課長
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	所管課	経済労働局経営支援部経営支援課

2. 事業実績

令和3年度評価に際して実績管理上の事務ミスが判明したため、赤字のとおり修正しています。

利用実績	【施設利用状況】																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度 提案目標値(%)</th> <th>令和3年度 実績値(%)</th> <th>令和2年度 実績値(%)</th> <th>令和元年度 実績値(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール</td> <td>79.1</td> <td>60.5</td> <td>33.6</td> <td>71.3</td> </tr> <tr> <td>展示場</td> <td>68.2</td> <td>50.0</td> <td>36.9</td> <td>68.8</td> </tr> <tr> <td>研修室</td> <td>74.0</td> <td>48.9</td> <td>37.2</td> <td>61.5</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>58.5</td> <td>45.1</td> <td>27.2</td> <td>49.0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>65.3</td> <td>48.0</td> <td>31.9</td> <td>57.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 まん延防止等重点措置に伴う施設利用上の制限期間 令和3年4月20日から令和3年8月1日まで ※2 緊急事態宣言に伴う施設利用上の制限期間 令和3年8月2日から令和3年9月30日まで ※3 実績値は、各施設の利用可能コマに対する利用実績のあったコマ数の割合</p>		令和3年度 提案目標値(%)	令和3年度 実績値(%)	令和2年度 実績値(%)	令和元年度 実績値(%)	ホール	79.1	60.5	33.6	71.3	展示場	68.2	50.0	36.9	68.8	研修室	74.0	48.9	37.2	61.5	会議室	58.5	45.1	27.2	49.0	合計	65.3	48.0	31.9
	令和3年度 提案目標値(%)	令和3年度 実績値(%)	令和2年度 実績値(%)	令和元年度 実績値(%)																										
ホール	79.1	60.5	33.6	71.3																										
展示場	68.2	50.0	36.9	68.8																										
研修室	74.0	48.9	37.2	61.5																										
会議室	58.5	45.1	27.2	49.0																										
合計	65.3	48.0	31.9	57.4																										
収支実績	【研修参加者数】 ○デジタルスキルアップ研修開催実績																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度 提案目標値</th> <th>令和3年度 実績値</th> <th>令和2年度 実績値</th> <th>令和元年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数(回)</td> <td>60</td> <td>71</td> <td>31</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>180</td> <td>203</td> <td>70</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度 提案目標値	令和3年度 実績値	令和2年度 実績値	令和元年度 実績値	開催回数(回)	60	71	31	40	人数(人)	180	203	70	70														
	令和3年度 提案目標値	令和3年度 実績値	令和2年度 実績値	令和元年度 実績値																										
開催回数(回)	60	71	31	40																										
人数(人)	180	203	70	70																										
サービス向上の取組	【収入】 204,960,317円(令和2年度実績:190,398,759円) 内訳 ・指定管理料 159,954,000円(令和2年度実績:156,976,000円) ・新型コロナウイルス感染症拡大防止 の対応に伴う補償費用 4,881,610円(令和2年度実績:8,776,694円) ・利用料金収入 31,209,162円(令和2年度実績:18,861,240円) ・事業収入 7,207,000円(令和2年度実績:4,147,310円) ・その他収入 1,708,545円(令和2年度実績:1,637,515円)																													
	【支出】 182,618,604円(令和2年度実績:186,378,723円) 内訳 ・人件費85,590,997円(令和2年度実績:97,344,149円) ・事業費18,103,572円(令和2年度実績:17,102,231円) ・施設管理費78,924,035円(令和2年度実績:71,932,343円) 【収支差額】 22,341,713円(令和2年度実績:4,020,036円)																													
サービス向上の取組	【施設利用に関する取組】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止策として緊急事態宣言等が発令されたことに伴う会館利用制限に関する情報の案内を迅速に行った。その結果、大きな支障をきたすことなく安全に会館運営を行った。 ・受付、設備、警備、清掃業務各責任者を集めた月1回の連絡会議を開催し、情報交換及び日々の業務の見直しを行った。さらに、受付や警備、設備、清掃各担当職員に対する接遇研修を実施した。																													
	【安全面の取組】 ・昨年度に続き大規模災害時を想定し当会館を一時滞在施設とした川崎駅周辺帰宅困難者対策訓練を実施した。																													

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点																																																
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	10	4	8																																																
		利用者満足度は向上しているか																																																			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか																																																			
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	10	4	8																																																
		当初の事業目的を達成することができたか																																																			
	<p>(評価の理由)</p> <p>【利用者満足度】 ・利用者満足度調査を4回適切に実施し、「施設の満足度」、「窓口の対応」とともに満足度(良い以上)は、目標値85%以上を達成している。 ・アンケート調査結果における要望への対応等については、貸室内においてインターネットを使用したりリモート会議のニーズが高まってきたことを受け、既に導入されている無料Wi-Fiの案内に加えて、貸室内インターネット接続速度の高速化及びLAN接続部分の新設工事を実施し、より利便性を高めるなど、館として可能な限り迅速に対応し、対応が難しいものについてはその旨の回答や説明を行っている。 ・デジタルスキルアップ研修受講者アンケート結果の平均満足度は85.9%と高い評価を受けている。また、品質管理・環境管理支援研修受講者アンケート結果における「期待以上満足」と「ほぼ満足できた」を合わせると89.7%であり、高い満足度となっている。</p> <p>○施設の印象</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回答数(件)</th> <th>大変良い(%)</th> <th>良い(%)</th> <th>普通(%)</th> <th>悪い(%)</th> <th>無回答(%)</th> <th>良い以上(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>372</td> <td>54.03</td> <td>40.32</td> <td>5.11</td> <td>0.00</td> <td>0.54</td> <td>94.35</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>286</td> <td>48.95</td> <td>41.96</td> <td>6.64</td> <td>0.35</td> <td>2.10</td> <td>90.91</td> </tr> </tbody> </table> <p>○窓口の対応</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回答数(件)</th> <th>大変良い(%)</th> <th>良い(%)</th> <th>普通(%)</th> <th>悪い(%)</th> <th>無回答(%)</th> <th>良い以上(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>372</td> <td>62.10</td> <td>31.18</td> <td>3.76</td> <td>0.00</td> <td>2.96</td> <td>93.28</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>286</td> <td>63.98</td> <td>31.47</td> <td>3.50</td> <td>0.00</td> <td>1.05</td> <td>95.45</td> </tr> </tbody> </table> <p>【事業成果】 ・人材育成業務として、技術革新の進展、ICT・IoT等のデジタル技術の積極的な活用や新しい生活スタイルに対応した人材の育成に向けて、ビジネスにおいて新しい取組につながるデジタルスキルアップ研修を実施し、研修開催回数・人数ともに目標を達成している。また、デザインソフト、SNS・Zoom活用や近年の働き方改革の一環として増加したりリモートワーク等にも対応した講座を新たに組み入れて開催したことにより、昨年度と比較して新型コロナウイルス感染症の影響がある中ではあったが、研修開催回数が約2.3倍、人数が約2.9倍と大きく増加した。その結果、デジタル技術を活用できる人材の育成により、販路拡大および取引先の新規開拓や、中小企業等のデジタル化推進に大きく寄与し、地域経済の活性化に繋がった。 ・有効活用業務として、これまで利用方法が課題となっていた3階旧展示スペースに整備された、かわさき生産性向上支援スペース(SAKURA LABO)において、中小企業をはじめ広く市民へテレワークを実施できる場や、生産性向上・働き方改革に関する支援を行う場を提供することにより、テレワーク目的の利用者が1,493人、場を提供したセミナー・相談会等は26回となり、中小企業等の生産性向上や働き方改革に大きく寄与し、変容する社会情勢に中小企業等が対応していくことに対する一助となった。</p>							回答数(件)	大変良い(%)	良い(%)	普通(%)	悪い(%)	無回答(%)	良い以上(%)	令和3年度	372	54.03	40.32	5.11	0.00	0.54	94.35	令和2年度	286	48.95	41.96	6.64	0.35	2.10	90.91		回答数(件)	大変良い(%)	良い(%)	普通(%)	悪い(%)	無回答(%)	良い以上(%)	令和3年度	372	62.10	31.18	3.76	0.00	2.96	93.28	令和2年度	286	63.98	31.47	3.50	0.00	1.05
	回答数(件)	大変良い(%)	良い(%)	普通(%)	悪い(%)	無回答(%)	良い以上(%)																																														
令和3年度	372	54.03	40.32	5.11	0.00	0.54	94.35																																														
令和2年度	286	48.95	41.96	6.64	0.35	2.10	90.91																																														
	回答数(件)	大変良い(%)	良い(%)	普通(%)	悪い(%)	無回答(%)	良い以上(%)																																														
令和3年度	372	62.10	31.18	3.76	0.00	2.96	93.28																																														
令和2年度	286	63.98	31.47	3.50	0.00	1.05	95.45																																														
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	7	4	5.6																																																
		支出に見合う効果は得られているか																																																			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか																																																			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	7	3	4.2																																																
		収入増加のための具体的な取組が為されているか																																																			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	6	3	3.6																																																
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか																																																					
<p>(評価の理由)</p> <p>【効率的・効果的な支出】 ・事業費については、ほぼ計画通りに執行されている。 ・人件費については、人員配置を見直し、施設運営者を1名削減したことにより予算額を下回った。なお、1名削減した以降においても削減前のサービス水準は維持されている。</p> <p>【収入の確保】 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用率が大きく下がっている中であるため、会館利用率の目標が44.0%と設定されていたが実際は48.0%であった。新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮した中ではあったが、目標値を4.0ポイント上回る結果となった。それに伴い利用料金収入は、31,209,162円となり、予算額を2,963,162円上回る結果となった。</p> <p>【適切な金銭管理・会計手続】 ・収入、支出ともに適切に管理されており、適正な会計処理がなされている。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響による収入減や、キャンセル料免除等による補償費用についても、適正に処理している。</p>																																																					

サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	10	3	6
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	10	3	6
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
	(評価の理由)				
<p>【情報発信業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業情報かわさき発行業務については、産業情報かわさきを年間12回、毎月10,000部発行し、産業支援の情報をより分かりやすく具体的な内容とするため、関係機関と連携してiCONMコラムの連載開始や記事において文字のみでなく図や表を多く使用し視覚的にわかりやすくするなど紙面のリニューアルを図った。また、川崎市その他産業関係各機関の支援情報、市内外の企業動向など様々な業種の企業活動に有益な情報を掲載し、川崎ものづくりブランド認定製品、財団起業家オーディション受賞企業等の紹介を行うなど市内企業情報の発信も行った。 産業情報コーナー運営業務については、6階閲覧コーナーでは産業経済関係の資料を常備し、特に中小企業に関心の高い経営の高度化等に活用できる補助金情報や労務管理といった労働法にも関わる情報等の提供に努めた。また、1階ロビーの情報発信スペースにおいては、市内企業を取り上げた冊子や施策情報等の配架を行い、大型ビジョンには川崎市のPRを放映し広報に努めるとともに、各フロアの空きスペースではパネル展示や「低CO2ブランド」の認定製品の展示を行った。 インターネット情報発信業務については、ホームページ掲載ではインターネットを活用した情報の収集、コンテンツの作成・更新等、施設の貸室の概要や写真紹介のほか、SNSの活用による情報提供を行うとともに、支援機関等の産業情報・施策情報を発信するプラットフォームとしての機能も継続し、ビジネスに役立つ情報を市内企業向けに発信した。ホームページ「ゲンバ男子・女子」の運営では、製造現場を取材(2社3名)しゲンバの良さやその活力を伝え、企業のイメージアップを図る取組を行った。また、放送スタジオ設備の活用においては、企業の情報発信につながる映像や動画のコンテンツの制作を3回行い、中小企業に役に立つLIVE情報配信を全10回行った。 <p>【人材育成等業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業の技術革新の支援、人材の育成を支援するための研究会等運営業務については、新分野・新技術支援研究会の運営として、必要なテーマを設定し、各分野の専門家を招き、4つの研究会を開催した。また、財団事業と連携した会員の支援として、会員企業支援の一環として、会員に対し訪問を行い、技術・経営面でのアドバイス、公的施策活用支援、広報支援等を計35回実施した。 人材育成業務については、71回開催し延べ203名が参加したデジタルスキルアップ研修のほか、中小企業における営業活動及び生産技術部門の強化等を図るため、ISO規格取得済みの企業を支援するISO内部監査員養成講座を最新の情報を交えグループワークを盛り込んだ実践的な内容で11回開催した。また、中小企業大学校と連携した「強い組織をつくる職場活性化の進め方」研修を開催した。 産業技術振興業務については、かわさきロボット競技大会の事務局運営として、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっている大会の次回以降の開催について、実行委員会の事務局として検討を行うとともに、技術者交流ホームページの運営を行い、かわさきロボット競技大会のアーカイブや関連動画、お知らせ等を配信した。また、日刊工業新聞社が主催する主にスマートファクトリーを実現するうえで欠かすことのできない情報管理・処理システム、製造設備・装置、その他、生産工場に関する最新技術・製品を紹介する総合展示会「スマートファクトリーJapan2021」への出展を行った。 <p>【販路開拓業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> データベース運用業務について、企業間マッチングの促進においては、1,248件の企業情報をインターネット上に公開し、企業の販路拡大に努めるとともに、川崎市内で新たに設立(事業所登録)した企業64社の企業情報を収集し、情報提供を行い、データベース登録企業等への具体的な支援として、新規訪問1件、公的施策活用支援7件、課題解決支援9件、マッチング案件の紹介24件、メディア等への広報支援8件、その他支援4件を実施した。また、データベースの運用については、「かわさきデータベース」と「企業データ・中小企業支援サポートシステム」を統合したクラウド環境による新支援システムの運用を行った。 展示会・販路開拓業務については、データベース登録企業が保有する独自技術や技術開発力のPR等を行うとともに、「オール神奈川受・発注商談会2021」へデータベース登録企業の参加を促し技術シーズ・ニーズのマッチング及び受発注機会の創出を行った。 					

【調査研究業務】

- ・企業実態調査(景況感調査)については、川崎市内企業が関心を持つ経営課題や基本的動向を把握することを目的にアンケートによる企業実態調査を2回実施し、結果の詳細については会館ホームページでの公開を行った。
- ・川崎元気企業発掘調査については、卓越した技術、製品、開発力を持つ企業、ユニークな取組を実践している企業を15社訪問し、企業や経営者の歴史や横顔、技術力や成長要因を取材し、取材内容を「川崎元気企業調査報告書」として2,000部発行した。
- ・事業化、商品化事例調査については、産学連携や産産連携で素晴らしい実績を残す企業を4社訪問するなどし、連携に至った経緯や取組の取材を行い、その内容を「産学官連携事例集」として1,000部発行した。

【飲食・展示業務】

- ・飲食スペースの運営については、新型コロナウイルス感染症の影響があったことを踏まえ、感染症対策を講じ、会館の利用者に対して、快適な利用環境を提供するための飲食スペースの運営を行った。
- ・ケータリングに関する業務については、新型コロナウイルスの影響により軽食以外の飲食を伴う懇親会等の予約を制限することになったが、飲食可能な会議室など、利用者の方に対するサービス向上として、コーヒーや弁当のデリバリーを行った。
- ・店内にある展示スペースを活用し川崎市内の製品やものづくりブランドの認定製品を展示し販売促進の支援に務めた他、市内企業が開発した新製品の展示も行った。

【有効活用業務】

- ・放送スタジオ設備の活用については、11階放送スタジオの機材を活用して中小企業に役に立つLIVE情報配信10回のほか、企業動画コンテンツの施策・情報配信を3本行い、ゲンバ男子・女子ホームページ掲載コンテンツの制作を2社3名分を行った。
- ・旧展示スペース(3階)については、新たに整備されたかわさき生産性向上支援スペース(SAKURA LABO)の運営を行い、中小企業をはじめ広く市民へテレワークを実施できる場や、生産性向上・働き方改革に関する支援を行う場を提供し、その活用に係る自主事業の取組として、協働アート活動「SDGs ART SPACE」を実施した。

【業務改善によるサービス向上】

- ・サービス向上のため、受付、設備、警備、清掃業務各責任者を集めた会議を開催し、情報交換を図ったほか、マニュアルの更新、研修等にも取り組むとともに、日々の業務見直し、サービスの改善活動を目標数100件に対し108件行った。改善内容については、スピーディーな対応、付加価値の高いサービスの提供を心がけ、利用者アンケートをや日々寄せられる利用者の生の声を参考に取り組み、アンケートによる満足度は目標85%以上に対し、**93.28%**の満足度であった。
- ・貸室内においてインターネットを使用したリモート会議の利用が見受けられるようになったため、貸室内インターネット接続速度の高速化及びLAN接続部分の新設工事を実施した。
- ・外部からのアクセス機能の向上として、ホームページ等の更新については、会館からのお知らせ案内や利用手引きの随時更新などを行い、会館ブログでは修繕の様子、会館の利用風景、会館周りの様子等、日々の改善活動について掲載を行った。

【利用者の意見・要望への対応】

- ・要望のあったアルコール消毒液の設置について、1・4・8・9・10・11階の共用部分に足踏み式のアルコール消毒液の設置を行った。
- ・研修等受講者からも感染対策の要望があったため、個々にウェットティッシュの配布、受講人数に合わせて席の配置の変更やアクリル板の設置を行った。

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	3	3	1.8
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	3	3	1.8
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	3	4	2.4
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	3	3	1.8
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	3	3	1.8
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか			
	(評価の理由)				
<ul style="list-style-type: none"> ・運営会議・施設各部署の連絡会議を設置し、定期的な会合を行い、情報共有、意思決定の迅速化に努めた。 					
<p>【適正な人員配置、連絡・連携体制、再委託管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な職員配置により、効率的かつ効果的な管理運営が行われた。 ・毎月1回の定例ミーティングや事務連絡、相談等により、所管課との連絡・連携が十分に図られた。 ・再委託については、文書報告を基本とし、連絡会議や立会いを行うことにより、適正な管理を行った。 					
<p>【担当者のスキルアップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場内研修だけでなく、外部研修等を活用してスタッフのスキルの向上を図った。 					
<p>【安全・安心への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な安全管理ができるよう適切な管理体制を構築しており、緊急時のマニュアル等を整備した。 ・防犯意識の向上を図り、地元警察との連絡体制をより強化するため、幸事業所防犯協会に継続して入会して連携を図った。 ・帰宅困難者一時滞在施設受入マニュアルを更新し、大規模災害を想定した川崎駅周辺帰宅困難者対策訓練を実施した。 ・緊急時に即時対応できるよう、関係機関及び所管課との連絡体制を構築した。 ・利用者による事件・事故が起きた際には適切な対応を取っており、その報告も所管課へ遅滞なく行われた。 ・会館の価値向上のため、収益を活用し、防災の観点からスポットクーラーや災害対策用蓄電池を導入した。その結果、災害発生時の帰宅困難者の対応および業務の継続について、より安定的な体制を構築した。 ・iCONM、KBICや産業振興会館の施設担当者の防災意識を高める機会として、KBICにて幸区役所危機管理担当も参加し、市内企業が販売する豪雨災害対策用品"WaterDAM"のデモ並びに意見交換を実施した。 					
<p>【コンプライアンス、職員の労働条件・労働環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報等に関する規定等を整備するとともに、法令遵守について周知徹底した。 ・職員の労働条件等については、市の基準に準じており、適正と認められた。 					
<p>【環境負荷の軽減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷の軽減については、クールビズの実施やトイレの蛇口を節水型に改修する等、ソフト・ハード両面で適切かつ十分な環境配慮を行った。 					

適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	3	4.8
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	7	3	4.2
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか				
(評価の理由)					
<p>【施設・設備の保守管理、管理記録の整備・保管、備品管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化が進む中、所管課と密接に連携を図りながら、適切に設備・施設を整備・管理した。特に、更新時期を迎える大型の修繕については、現況の報告や対応策の提案が現場から適時なされており、所管課もそれに応じて予算要求をしていくなどの対処ができた。 業務日誌・点検記録・修繕履歴等は、適切に整備・保管されていた。 設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充については、常に点検しており、適切に管理・整備されていた。 会館利用者がより気持ちよく利用できるよう、ホワイトボード、サインスタンド、パソコン等備品の入れ替えを行った。 <p>【清掃業務、警備業務、外構・植栽管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 清掃については、施設が快適に利用できるよう適切に実施された。 警備については、来館者の安全確保等のために適切に実施され、連絡体制についても、適切に整備された。また、警備職員に対しても、受付職員と同様に接遇研修を実施するなど、よりよい警備を目指して取り組んだ。 植栽管理については、適切に実施され、日々の状況についても適切に管理された。 					

4. その他加点

分類	項目	着眼点	評価点
その他加点	市の政策課題への取組	第三者へ一部の業務委託を行う際、市内中小企業者の受注機会の確保・拡大	3
	(評価の理由) 清掃委託及び廃棄物処理委託契約において、市内中小企業への発注を行っている。		

5 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部の事業自粛や会館利用率も低下してしまっているが、その中で会館利用率が目標値を上回ったこともあり、利用料金収入は予算額を上回った。それと併せて、利用者の満足度が高水準で推移したことも踏まえると、安定的な会館運営が行えたといえる。</p> <p>人材育成の研修についても、新型コロナウイルス感染拡大の影響がある中にも関わらず、開催回数、参加人数がいずれも目標値を上回っており、近年の参加人数と比較しても大きく増加したため、これは感染対策を講じた上で変化していくニーズに合わせた内容の研修を打ち出した成果であると見受けられる。</p> <p>近年の働き方改革やリモートワークの増加を受けて、貸室内のインターネット環境の増強、放送スタジオ設備やSNSを活用した情報発信、テレワーク環境の運営、生産性向上支援への場の提供など、社会構造の変化に対応した事業を実施できたといえる。</p> <p>全体としては、良好な事業執行及び施設管理運営が行われてたと評価できる。</p>

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止対策が求められる中で、引き続き感染状況を注視しながら利用者が安心して利用できる会館運営を行うこと。 ・利用者満足度が高い水準で推移している中、会館利用率向上を図る取組を行い、会館利用者からの意見や要望に対して積極的に傾聴し、適切に対応すること。 ・働き方改革、リモートワークといった社会環境の変化に合わせた産業振興に資する事業を行うこと。 ・安全・安心な施設の維持、管理を引き続き行い、設備の老朽化している箇所については、市の所管課への早めの情報共有を図り、修繕が必要なものについては調整を行うこと。 ・人材育成業務の中で研修によりデジタル人材の育成を推進しているため、人材育成をより新分野や新技術への発展、中小企業のデジタル化及び販路開拓といった分野などへと繋げ、地域経済の活性化に向けて取り組むこと。
--